

第 49 回釜ヶ崎越冬闘争への協力要請

いよいよ今年も本格的な冬がやってきました。暖冬になるという予報や求人数が例年よりも伸びていることなど、うれしい話もありますが、暖冬の年であっても餓死・凍死はありましたし、求人数が増えても、高齢の仲間には仕事が回ってくることはありません。

越冬期間中ではありませんが、大阪府は来年度からのセンターの建て替え閉鎖にとまなない、センター清掃 20 人の削減とガードマン 26 人の削減と高齢日雇労働者特別就労事業(特掃)の人員削減をもくろんでいます。釜ヶ崎労働者が厳しい立場に置かれていることは何ら変わりありません。

センターの建て替え問題は、自らの営利のため事業拠点を創るため跡地を私たちから奪おうとする商業資本と労働施設を守ろうとする私たち労働者とのせめぎ合いであり、地域の発展を目指す人たちとの協働の場でもありました。西成特区構想発表から 6 年が経ち、「民営化」の名のもとに、市民の財産、労働者の財産を資本に売り飛ばそうとした悪徳政治家と御用役人、御用学者の目論見を打ち砕くことには成功しました。

しかし、商業資本への売り渡しは阻止したものの差し迫る(年度末閉鎖)建て替え中のセンター利用者の問題(居場所機能の仮移転)や新センターの中身についてはまだまだこれからの攻防となります。

私たちは「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という想いに応え続けてきたこの街の良さ(多くの人たちの想い)=伝統を守ることによって、今この街に暮らすなかまと共にこれからも流れ着くであろうなかまたちを守っていければと思います。

今年の越冬闘争は目の前でなかまたちが餓死・凍死をするのを守るとともにこの街がすべての個人にとってやさしく住みやすい街となるように人権と平和を求めてそれに反するような行政施策、国の政治を見据えながらなかまたちの団結を創り出し、声を上げていく越冬闘争になればと願っています。

これまで同様皆様の温かいご支援をお願いいたします。

また、2018 年 12 月 28 日から 2019 年 1 月 4 日までの越冬期間中の現場でのご支援もよろしくをお願いいたします。

■資金で協力

越冬闘争では、毎年 70 万～80 万円の資金が必要となります。現在も、越冬実行委員会では、資金集めに奔走しております。厳しさを増すこの経済状況にあって、心苦しい限りではありますが、釜ヶ崎の運動・取り組みに関心を寄せる多くの方々に、資金協力をお願いしたく思います。

【振込先】 ①みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094

釜ヶ崎実行委員会代表山田実

②ゆうちょ銀行 記号 141 番号 33722521

【他金融機関から振り込みの場合】

③ゆうちょ銀行 店番 418 普通預金 3372252

④郵便振替口座 00960-4-108331

②③④は、名義：釜ヶ崎実行委員会

■物資で協力

越冬闘争では、次のような物資が必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。

毎日の炊き出しに使う、米、もち米、お米券、調味料、野菜、その他の食料
 寝場所、医療パトロールで使う、布団（敷布団、掛布団）、毛布類、寝袋

冬の寒さをしのぐための、衣類（成人男性用で、防寒着、カイロ、など）

その他、石鹸、タオルなどの日常生活用品

【物資の送付先】 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7

第 49 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会（代表 山田 実）

電話：06-6632-4273

第 49 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会